

開催記録

|       |   |
|-------|---|
| 名 称   | 第1回 振興計画町民検討会議  |
| 開催日時  | 平成21年9月27日(日) 午後1時30分～午後5時  |
| 開催場所  | 会津美里町役場本郷庁舎 ふれあいセンター  |
| 出席者   | <p>【委員】<br/>荒井弘之、歌川浩司、大竹久一、石川栄子、野中憲子、渡辺秀造<br/>片山玲子、佐藤正人、鈴木幸信、笹川壽夫、塩田光顕</p> <p>【事務局】<br/>渡部英敏(途中退席)、佐藤一総合政策課長、木崎稔総合政策係長<br/>大竹さおり、渡部朋宏</p> |
| 議 題   | <p>①会津美里町第2次振興計画の策定方針等について<br/>②町民参画による総合計画策定の進め方<br/>③班別検討(ワークショップ)「わがまちの現状」</p>   |
| 資料の名称 | <p>①第1回振興計画町民検討会議資料<br/>●町民参画による総合計画の進め方<br/>③町の現状に関する統計データ等</p>  |
| 記録方法  | <p><input type="checkbox"/>会議全文 <input type="checkbox"/>発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/>会議内容の要点記録</p>                  |
| 会議内容  |   |

## 1. 開会

### 2. 町長あいさつ

皆さん、こんにちは。

本日は、休日にもかかわらず、お集まりをいただき、誠にありがとうございます。

また、この度は、「第2次振興計画 町民検討会議委員」に自ら、応募していただき、心より感謝申し上げます。

振興計画は、会津美里町のまちづくりを進めるうえで、最も基本となるものです。様々な計画がある中で、最上位の計画に位置づけられており、福祉であったり、環境、教育など各分野における計画は、全てこの振興計画に基づいてつくられています。

第1次振興計画は、平成17年に策定し、平成22年度を目標年次とした計画ですが、基本的には、町村合併時に作成した「新町まちづくり計画」を踏襲しております。

合併してから4年が経過しており、また、政権交代など社会情勢の大きな変化もあることから、将来を見据えて、平成23年度から始まる新たな計画を策定する必要があります。第2次振興計画は、これまでの策定方法を大きく変え、策定段階から町民の方々に参加していただき、行政評価の視点を取り入れ、その成果が数値で判断できるよう目標値を設定し、より現実に即したものにしていこうと考えております。

また、先般の9月議会では、行政活動における町民参加の基本的なルールを定めた「会津美里町みんなの声をまちづくりにいかす条例」を議決していただきました。本日お集まりの中にも、条例の制定に向けてご協力いただいた方々がいらっしゃいます。本条例の施行は平成22年4月ですが、この条例の趣旨を踏まえ、町民の皆さんの参加のもと振興計画を策定していく組織が、本日開催する町民検討会議になります。

町民会議では、皆さんそれぞれの思いを遠慮なく話し合ってください、最終的には「会津美里町の今後5年間のまちづくりの指針」をまとめていただければと思っております。

また、まちづくりは行政のみで行うものではありません。行政と町民がそれぞれ役割分担をし、力を合わせてともに取り組むことが必要になります。

どうか、皆さんの英知を結集して、今後の会津美里町の進むべき方向と目標を明らかにし、それぞれの役割に応じた主体的なまちづくりの推進について、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

### 3. 参加者自己紹介（事務局・参加者・JMAC）

## 4. 議題

### （1）会津美里町第2次振興計画の策定方針等について

【事務局（総合政策課）より説明】

## (2) 町民参加による総合計画策定方針等について

【JMAC（星野）より説明】

### 《質疑》

Q 要望要求型ではダメということだが、どうすべきか？

A（事務局） 住民自治の主役としての行動が求められる。

Q 町としてのビジョンがあるのか？あれば示してほしい。整合性を図る必要がる。

A（事務局） 町長の考えを踏まえ原案をたたき台として示しながら、今後検討を進めていきたい。

Q 最初からたたき台を示すのであれば今までと変わらない。こちら側の要望に応じて行政側で示せばいいのではないか。白紙の状態で議論することに意義があるのではないか？

Q 検討会議での考えと町民の意向が違う場合はどう整合性を図るのか？

A（事務局） あくまでも判断材料として行政（町長の思いを踏まえた）の考えを示すつもりである。これに縛られるものではなく、皆さんの考えを踏まえて、どれがいいのか検討していけばいいと思っている。

Q 参加している人はそれぞれの思いがある。描いた夢を否定されては困る。

Q 第一次振興計画に対する評価はどのように考えているのか？

A（事務局） 第一次については網羅的で役場がメインの計画である。振り返りは現在検討中。

Q 町民検討会議での議論を踏まえて町長はまちづくりを進めるべき。第一次計画では抽象的な表現が多い。具体的な数値目標を示すべきであるが、計画は範囲が広いので、分野ごとに分科会を設置する必要があるのではないか？今後どのように進めていくのか？

A（JMAC） 政策体系ができてから具体的な検討になる。分科会ごとに詳細な検討をすすめていく事例が多い。

A（事務局） 委員は常時募集で考えている。6分科会を組織するとれば30人程度は必要になる。

Q 積極的にPRを進めてほしい。

Q 悪い町民（行政へ積極的に参加しない町民）も多く参加する仕組みが必要だろう。まち全体で考えれば、悪い町民の方が圧倒的に多い。しかし、悪い町民でも町を良くしようとする思いはある。

Q 町民検討会議の役割は何か？白紙からの検討は正直無理ではないか？

A（事務局） 委員の方で話し合ってもらいたい。事務局で材料を提供して検討する方法もあるし、町民会議での議論を踏まえて事務局でたたき台を作成する方法もある。あるいは、全く白紙の状態から検討する方法もある。

※今後の進め方について改めて議論することとした。

(3) 班別検討「わがまちの現状」

【事務局（総合政策課）より「町の現状に関する統計データ等」を説明】

班別検討及び発表：別添ワークシート参照

5. その他

次回以降の会議日程：平日（水曜日）午後7時～9時 月1回程度の開催とする

6. 閉会